令和8年度

多文化共生中域ネットワーク多摩西部ブロック協働事業

やさしい日本語研修

参加費無料

開催日時

2026 10/25 日

時間：14時00分～16時30分

場所

多摩平の森ふれあい館3階
（日野市多摩平２－９）

定員

40名程度

対象者

立川市、昭島市、小平市、日野市、国分寺市、武蔵村山市
に在住・在勤・在学し、初めてやさしい日本語に触れる方

内容

やさしい日本語の話し言葉での対応について、
外国人が参加するワーク等を通して実践的に学びます。

講師

黒田 友子 氏

（一般社団法人やさしいコミュニケーション協会　代表理事）

日本語教師、やさしい日本語アドバイザーとして、自治体・医療機関・民間企業等で講師を務め、やさしい日本語の普及・啓発活動を行う。国立国際医療研究センター国際診療部と医療者向け「やさしい日本語（医療）研修」を開発・開催。東京都つながり創生財団「やさしい日本語リーダー養成研修」講師。大阪外国語大学外国語学部（現・大阪大学外国語学部）日本語専攻卒。山口県宇部市出身。

参加方法

10月16日（金曜日）までに二次元コードまたは
下記URLから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。

https://forms.cloud.microsoft/r/arygsUcMFd

※応募者多数の場合は抽選となります。

主　催｜公益財団法人東京都つながり創生財団・日野市国際交流協会

協　力｜多文化共生中域ネットワーク多摩西部ブロック

やさしい日本語ってどんなもの？

文法・言葉のレベルや文章の長さに配慮し、わかりやすくした日本語のことです。

1995年の阪神・淡路大震災の際、地震発生時の緊急速報や避難指示を理解できずに多くの外国人が被災しました。
それをきっかけに、外国人にも迅速に正しい情報を伝えるための手段として、やさしい日本語の取り組みは始まりました。
もともとは、外国人向けの取り組みとして始まったやさしい日本語ですが、そのコミュニケーションのポイントを意識することで、『**子ども**』や『**お年寄り**』、『**障害がある方**』など、多くの人にとって "やさしい" コミュニケーションになります。
やさしい日本語に"正解"はありません。
相手の日本語レベルや理解に合わせて、日本語を調整することが大切です。

Kind Easy
やさしい
にほんご

研修タイトル

令和８年度多文化共生中域ネットワーク多摩西部ブロック協働事業

「やさしい日本語研修」

概 要

開催日時	**2026年10月25日(日曜日)**　14 時00分～16時30分
講　　師	**黒田 友子 氏**　（一般社団法人やさしいコミュニケーション協会　代表理事）
場　　所	**多摩平の森ふれあい館 3階**　（日野市多摩平２－９）

本研修では、やさしい日本語を使った話し方や対応を実践的に学びます。研修の後半では、学んだやさしい日本語を使って実際に外国人のゲストとお話をするワークショップも行います。やさしい日本語を使って地域の外国人と交流してみませんか？

皆様のご参加をこころよりお待ちしております！

応募締め切り

10月16日（金曜日）までに二次元コードまたは
下記URLから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。

https://forms.cloud.microsoft/r/arygsUcMFd

※応募者多数の場合は抽選となります。

問い合わせ先

公益財団法人東京都つながり創生財団 多文化共生課 事業調整担当
TEL:03-6258-1237
Email：network@tokyo-tsunagari.or.jp

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています 石油系溶剤を含まないインキを使用しています
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。